

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 3 月 4 日作成)

小委員会名	風荷重小委員会	主 査 名：植松 康 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	「建築物荷重指針」の改定(2015 年 2 月), 「建築物荷重指針を活かす設計資料 2－建築物の風応答・風荷重評価/CFD 適用ガイド」の編集, 構造物の合理的耐風設計・耐風性能評価法の普及, 最新の情報交流と風工学研究の進展。 初年度: 「建築物荷重指針」改定作業。「実務者のための建築物外装材の耐風設計マニュアル」の刊行と講習会の開催。 2 年度: 「建築物荷重指針」の改訂作業。構造本委員会査読用原稿の完成。 3 年度: 「建築物荷重指針」の出版と講習会の開催。 4 年度: 「建築物荷重指針を活かす設計資料 2 建築物の風応答・風荷重評価/CFD 適用ガイド」の編集作業。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無: 無	
	主査: 植松 康 (東北大学) 幹事: 谷口徹郎 (大阪市立大学), 大竹和夫 (竹中工務店) 委員: 奥田泰雄 (国土技術政策総合研究所), 片岡浩人 (大林組), 片桐純治 (泉創建エンジニアリング), 河井宏允 (東京電機大学), 菊池浩利 (清水建設), 近藤宏二 (鹿島建設), 佐藤大樹(東京工業大学), 田村哲郎 (東京工業大学), 寺崎 浩 (大成建設), 西村宏昭 (京都大学), 松井正宏 (東京工芸大学), 吉江慶祐 (日建設計)	
設置 WG (WG 名: 目的)	設計風速 WG: 設計風速の合理的設定法の検討 風力係数・風圧係数 WG: 設計用風力係数および風圧係数の充実 風応答 WG: 風応答とその荷重評価法の検討 CFD ガイドライン WG: 風荷重評価への CFD の応用法の検討 風疲労WG: 変動風力による建築構造および外装材の疲労損傷評価法の検討 実大ストームシミュレータ検討WG: 実大ストームシミュレータの設計(課題抽出と対策)	
2015 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無: 無 委員会 HP アドレス: -

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (6/8, 9/14, 10/14, 1/14)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「建築物荷重指針を活かす設計資料 2－建築物の風応答・風荷重評価/CFD 適用ガイド」の編集作業を行い, 荷重運営委員会に査読を依頼した。
委員会活動の問題点・課題	1. WG 数が多いため委員会活動費が不足 (→メール審議等の利用) 2. 委員の高年齢化 (→次期委員会で委員の交代によって若返りを図る)